

セネガルでのリフトバレー熱流行状況の詳細

2025年12月4日 木曜日

1 概要

リフトバレー熱（RVF）は、ウイルスによる人獣共通感染症で、主に蚊媒介と家畜関連曝露が感染経路です。2025年12月3日時点でセネガル保健省は、**確定症例数536例、死亡者31名（致死率5.8%）**、回復者495名を公式発表しています。これは1987年以来、セネガルで最も深刻なリフトバレー熱の流行となっています。[\[1\]](#)[\[2\]](#)[\[3\]](#)[\[4\]](#)

防疫体制は最大警戒レベルですが、現時点で国際的な入国制限は行われていません。当局は家畜市場・蚊媒介・食品衛生面すべてでの予防徹底を呼びかけています。最新プレスリリースなど信頼できる政府・国際ニュースで継続的な監視・情報取得がお勧めします。

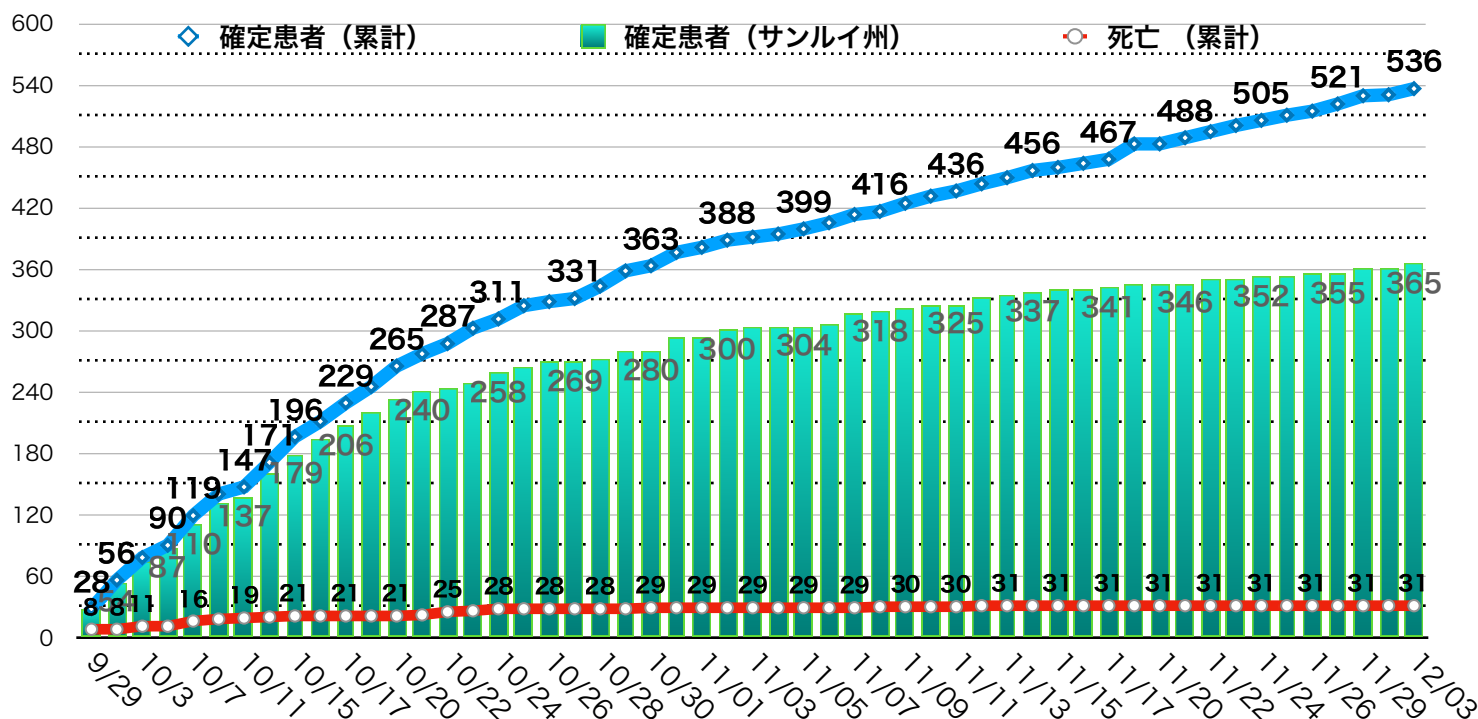
現在、沈静化傾向にあり、都市部での大規模な市中伝播は確認されていませんが、家畜やその製品、物流・市場を介したウイルスの持ち込みにより、施設内や限定的な環境での曝露クラスター発生リスクは残存しています。当面は都市部では農場・と畜場・家畜市場等への出入りや未殺菌乳・加熱不十分な肉の摂取を避け、長袖・忌避剤・蚊帳の活用など防蚊策を徹底してください。

現時点でWHO・セネガル政府は入国制限を実施しておらず、渡航自体は可能です。しかし、当面の間、サン＝ルイ州およびセネガル河流域の農村部への渡航は可能な限り避けることが推奨されます。

発熱などの症状が出た場合は早めに医療機関へ相談し、当局の予防策・注意喚起に従って行動してください。

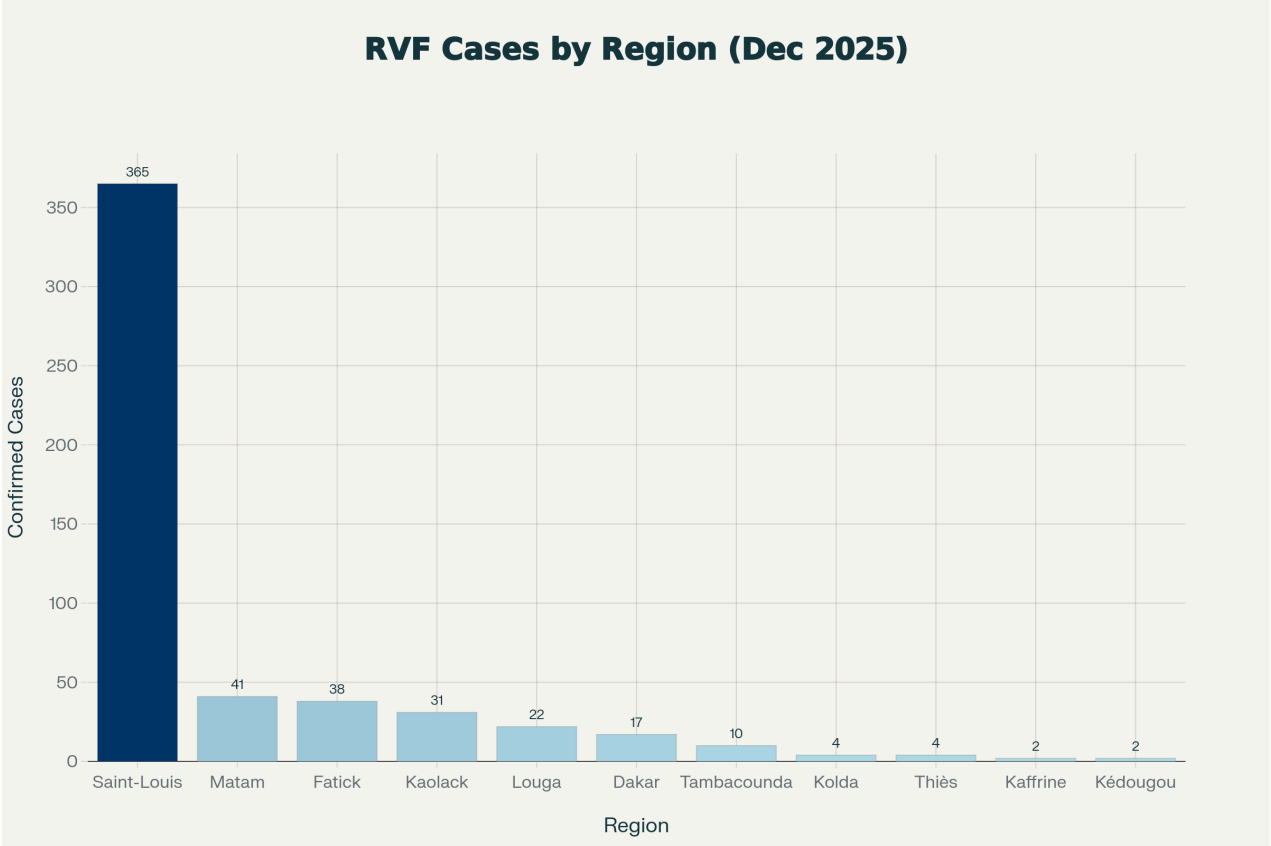
2 罹患者数・死亡者数

（1）ヒト症例（全国累計）



(2) 州別動向

セネガル リフトバレー熱 州別確定症例数 (2025年12月3日時点)

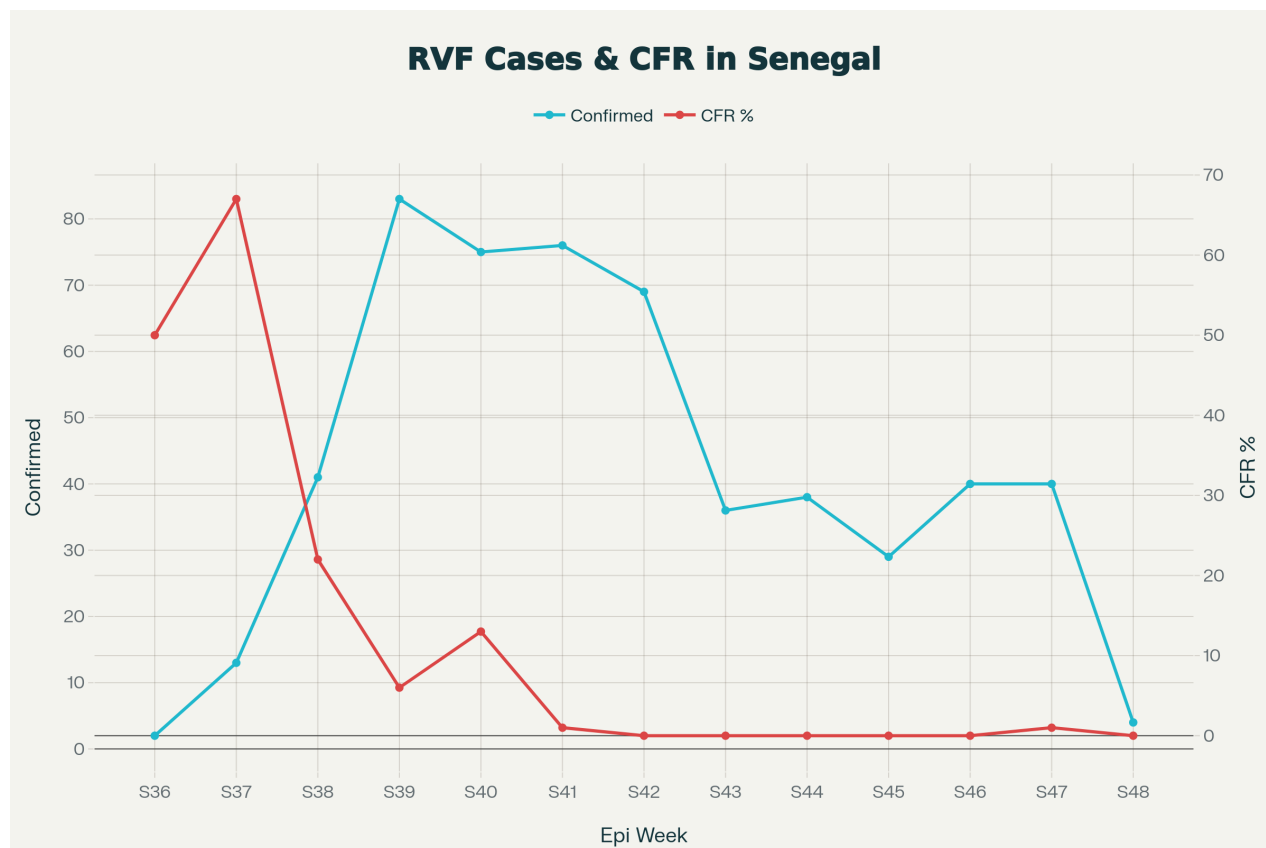


サン＝ルイ州が最大の流行地で、全症例の約68%を占めています。特にリシャル・トル (Richard-Toll) 地区が159例と最多で、サン＝ルイ地区82例、ポドール地区74例と続きます。致死率は州によって大きく異なり、ルガ州18.2%、マタム州12.2%と高い一方、カオラック州やダカール州では死亡例が報告されていません。[\[1\]\[5\]](#)

州名	確定症例数	死亡者数	致死率(%)	攻撃率/10万人
サン＝ルイ	365	19	5.2	29.0 [1]
マタム	41	5	12.2	4.7 [1]
ファティック	38	3	7.9	4.0 [1]
カオラック	31	0	0.0	2.2 [1]
ルガ	22	4	18.2	1.9 [1]
ダカール	17	0	0.0	0.4 [1]
その他5州	22	0	0.0	—

(3) 時系列的推移

週別確定症例数と致死率の推移（2025年9月～11月）



流行は第39週（9月末）に83例でピークを迎え、その後は週30～40例程度で推移しています。11月以降は新規症例が減少傾向にあり、直近のデータでは1日あたり6例程度の新規確定例となっています。最後の死亡例は2025年11月12日に報告されています。^[5]

発症パターン

(1) 年齢・性別分布

確定症例の65.3%が男性、34.7%が女性です。死亡例では男性61.3%、女性38.7%となっています。年齢別では20～40歳が最多を占め、特に25～29歳（98例）、20～24歳（65例）、30～34歳（66例）の順に多くなっています。^[5]

(2) 職業別分布

罹患者の職業分布は以下の通りです：^[5]

主婦（Ménagère）：最多

牧畜業（Éleveur）：次いで多い

学生

無職

農業従事者（Agriculteur）

家畜関連職業従事者が全体の約半数を占めており、職業曝露が重要なリスク因子となっています。^{[6][5]}

（３）居住地別

確定症例の79.6%が農村部（rural）居住者で、都市部は20.4%にとどまります。^[5]

主要なリスク因子

（１）感染経路

リフトバレー熱ウイルス（RVFV）の人への感染経路は主に2つです：^{[7][8]}

ア 動物からの直接曝露：

感染家畜との接触、特に屠殺・解体作業、分娩介助、死体・流産胎児の処理時に血液・体液を介して感染^{[9][8]}

イ 蚊媒介感染：

Culex tritaeniorhynchus、Culex antennatus、Aedes属など複数種のベクター蚊の刺咬^{[6][5]}

（２）環境要因

今回の流行は、**2025年9月の大雨と洪水**により蚊の繁殖条件が整ったことが主因とされています。セネガル川流域（サン＝ルイ、マタム）の灌漑農業地帯が最も影響を受けています。^{[10][11][9][12][13]}

（３）高リスク集団

- ・ 牧畜業者・農業従事者
- ・ 獣医師
- ・ 食肉処理従事者
- ・ 家畜と頻繁に接触する農村住民

動物における流行状況

2025年11月30日時点で**428頭の家畜（羊、山羊、牛）**でRVF陽性が確認されています。動物症例の地域分布は：^[5]

州名	動物症例数
サン＝ルイ	199
ルガ	98
マタム	37
タンバクンダ	23
ファティック	20 ^[5]

流産は2,026件が報告されており、家畜への経済的打撃は甚大です。11州28県が動物症例の影響を受けています。^[5]

周辺国の状況（参考）

- ・ セネガル周辺国で、2025年秋に国際機関が「ヒト症例」を公式に確認しているのは、モーリタニアとガンビアのみです。^{[64][68][66]}
- ・ モーリタニアは約50例・14死亡と、症例数はセネガルより少ないものの致死率30%と非常に高い点が特徴です。^{[65][64][66]}
- ・ ガンビアはヒト1例＋家畜4例程度の限定的アウトブレイクにとどまっています。^{[68][66]}

- マリ、ギニア、ギニアビサウなどでは、2025年9～11月時点で国際機関が公表するRVFヒト症例統計は見当たりません。ECDCやWHOは「家畜移動に伴う波及リスク」を強調しているものの、症例数としては報告されていない状況です。^{[69][64][66]}

公的保健機関による予防策・広報状況

(1) セネガル保健省の対応

セネガル保健省 (Ministère de la Santé et de l'Hygiène Publique) は2025年10月1日にCOUS (Centre des Opérations d'Urgence Sanitaire、国家緊急オペレーションセンター) を活性化し、**レベル1 (最高警戒レベル) **で運用を継続しています。^{[6][5]}

主な広報活動：

- 無料電話相談窓口：800 00 50 50 (24時間対応) ^[4]
- 緊急通報：1919、SAMU 1515^[4]
- 16,075名の牧畜業者への啓発活動実施 (11月30日時点) ^[5]
- テレビ・ラジオを通じた予防メッセージの放送^[4]

(2) 予防勧告

セネガル保健省が推奨する予防策：^{[4][7]}

- 蚊帳の使用、長袖・長ズボンの着用
- 虫除け剤の使用
- 家畜の血液・体液との接触回避
- 肉・乳製品の十分な加熱調理
- 流産胎児・死亡動物の適切な処理

当局による防疫体制

(1) 監視・検査体制

- 累計検体数：17,348検体 (ヒト)、陽性率約3%^[5]
- 検査確認方法：PCR (66.4%)、IgM (29.6%)、PCR+IgM (4%) ^[5]
- パスツール研究所ダカールがウイルス学的検査を実施^[5]

(2) 家畜対策

- ワクチン接種：44,358頭 (11月30日時点)、287村をカバー^[5]
- 3,022検体の動物血液サンプリング実施^[5]
- 小反芻獣への集中的ワクチン接種キャンペーン継続中^{[6][5]}

(3) ベクター (蚊) 対策

セネガルでは複数地域で昆虫学的調査が実施され、RVFウイルスが以下から検出されています^{[6][5]}

- *Culex tritaeniorhynchus* (リシャール・トル、ディアウシル、ンゴナケで検出)
- *Culex antennatus*
- *Anopheles gambiae* (ダカール・ニアガで検出)

殺虫剤感受性試験の結果、主要媒介蚊*Culex tritaeniorhynchus*においてクロルピリホスエチルへの耐性が確認され、テムホス (Temephos) およびBti (*Bacillus thuringiensis israelensis*) への切り替えが推奨されています。^{[5][6]}

入国・移動制限の有無

2025年12月4日時点で、セネガル政府によるRVF関連の入国制限・国内移動制限は確認されていません。WHOも渡航制限を推奨していません。^{[9][14]}

ただし、家畜の移動については、WOAH（世界動物保健機関）がセネガル川流域での国境を越えた家畜移動に対する警戒を呼びかけています。^[11]

疫学的・医学的根拠

（１）ウイルス学的特性

分子解析の結果、今回の流行株は2020年以降セネガルに存在する地域株（Lineage H）であり、新規輸入株ではないことが確認されています。これはRVFウイルスが蚊の中で「休眠」し、適切な気候条件（大雨・洪水→温暖な天候）で再活性化するパターンを示しています。^{[10][12]}

（２）臨床像

- 潜伏期間：2～6日^{[10][9]}
- 軽症型（大多数）：発熱、筋肉痛、頭痛、関節痛、食欲不振
- 重症型（約11%が出血症状）：出血熱、脳炎、網膜炎による視力障害^{[9][13]}

WHOによると、セネガルの確定症例の約11%が出血症状を呈し、そのうち20例が死亡しています。^[9]

（３）FAO/WHO/WOAH合同リスク評価

2025年10月20日のFAO/WHO/WOAH合同迅速リスク評価では、RVFのリスクは地域レベルで中程度、世界レベルで低いと評価されています。^{[16][17]}

考察とまとめ

（１）感染の今後の予測

流行は10月上旬のピーク後、減少傾向にあり、11月以降の新規症例数は週30～40例程度に落ち着いています。乾季（11月～5月）の到来に伴い蚊の活動が低下することで、さらなる減少が見込まれます。ただし、WHOは「環境条件が蚊の繁殖に有利な状況が続いており、年内の追加症例リスクは依然として高い」と警告しています。^{[5][13]}

（２）ダカールなど都市部への感染拡大考察

ダカール州での確定症例は17例（12月3日時点）で、サン＝ルイ州の5%以下にとどまっています。しかし、ダカール近郊のニアガ農場で採取された蚊からRVFウイルスが検出されており、都市周辺部での監視強化が必要です。ダカールへの大規模拡大は現時点で確認されていませんが、家畜市場を介した伝播リスクは継続しています。^{[6][11][5]}

（３）家畜の大量死亡による経済的影響

RVFは家畜に壊滅的な被害をもたらし、「アボーションストーム（流産の嵐）」と呼ばれる大量流産、新生仔の高死亡率、乳生産の低下を引き起こします。2,026件の流産報告は、畜産農家の生計に深刻な打撃を与えています。さらに、家畜の移動・取引制限が加われば、地域経済への影響は拡大します。専門家に確認が必要ですが、推測ですが、経済的損失は数百万ドル規模に達する可能性があります。^{[5][12][18][9]}

（４）殺虫剤の耐性化と防蚊対策への影響

セネガル保健当局の昆虫学的調査により、主要ベクターであるCulex tritaeniorhynchusにおいてクロルピリホスエチルおよびデルタメトリンへの耐性が確認されています。SITREPでは以下の代替策が推奨されています：^{[6][5]}

1. クロルピリホスエチルの代替品の探索
2. デルタメトリンの代替品（家畜処理用）の検討
3. フルドラ（Fludora：デルタメトリン＋クロチアニジン混合剤）の室内残留噴霧での継続使用
4. テメホスの幼虫駆除への活用

この耐性化は、ベクター制御の効果を低下させる懸念材料であり、統合的ベクター管理（IVM）の重要性が増しています。^{[20][21]}

日本人旅行者・居住者への情報（アラート）

（１）在セネガル日本国大使館からの注意喚起

在セネガル日本国大使館は2025年10月以降、複数回にわたりリフトバレー熱に関する注意喚起を发出しています。^{[22][23][24]}

（２）米国CDCの渡航勧告

米国CDCは2025年10月10日にセネガルに対しLevel 1（標準的予防措置の実施）の渡航健康情報を发出しています。^{[25][14]}

（３）推奨事項

1. 蚊対策の徹底

- ディート30%やイカリジン15%配合の虫除け剤使用
- 長袖・長ズボンの着用
- 蚊帳の使用（特に夕方～夜間）

2. 動物との接触回避

- 家畜市場・屠殺場への立ち入り禁止
- 生肉・生乳の摂取回避
- 流産動物・死体への接触厳禁

3. 症状出現時の対応

- 発熱・頭痛・筋肉痛が出現した場合は速やかに医療機関受診
- 渡航歴・動物接触歴を必ず医療者に伝達
- 潜伏期間（2～6日）を考慮し、帰国後も体調監視を継続

4. 緊急連絡先

- 在セネガル日本国大使館：+221 33 849 0500^{[14][26]}
- セネガル保健省無料ダイヤル：800 00 50 50^[1]

（４）渡航判断

現時点でWHO・セネガル政府は入国制限を実施しておらず、渡航自体は可能です。ただし、サン＝ルイ州およびセネガル川流域の農村部への渡航は可能な限り避けることが推奨されます。渡航前には外務省海外安全ホームページおよび在セネガル日本国大使館の最新情報を確認してください。^{[14][27][23]}

Reference

1. PressRelease20251204.pdf
2. https://www.pressafrik.com/Fievre-de-la-vallee-du-Rift-FVR-six-06-nouveaux-cas-confirmes-au-03-decembre-2025_a298303.html
3. https://www.seneweb.com/fr/news/Sante/situation-epidemiologique-le-point-sur-la-fievre-de-la-vallee-du-rift-et-le-mpox_n_476338.html
4. <https://www.pandemicpact.org/outbreaks/rift-valley-fever-in-senegal>
5. 43-Sitrep-Ndeg43-Du-1-er-decembre-2025.pdf
6. 42-Sitrep-Ndeg42-Du-24-Novembre-2025.pdf
7. <https://theconversation.com/la-fievre-de-la-vallee-du-rift-sevit-au-senegal-ce-quil-faut-savoir-sur-cette-maladie-266724>
8. <https://www.reuters.com/business/healthcare-pharmaceuticals/senegal-reports-17-deaths-rift-valley-fever-outbreak-2025-10-09/>
9. <https://www.who.int/emergencies/disease-outbreak-news/item/2025-DON584>
10. <https://africacdc.org/news-item/rift-valley-fever-makes-a-comeback-in-senegal-and-mauritania/>
11. <https://www.woah.org/en/statement-on-rift-valley-fever-in-west-africa/>
12. <https://www.africavet.com/rift-valley-fever-in-senegal-and-mauritania-a-triple-threat-to-health-livestock-and-economy/>
13. <https://www.cidrap.umn.edu/rift-valley-fever/rift-valley-fever-cases-senegal-mauritania-top-400>
14. <https://www.sn.emb-japan.go.jp/files/100936123.pdf>
15. <https://globalbiodefense.com/2025/10/13/rift-valley-fever-outbreak-senegal-2025/>
16. <https://www.fao.org/animal-health/animal-diseases/rift-valley-fever/frequently-asked-questions-on-the-current-rift-valley-fever-situation/en>
17. [https://www.who.int/publications/m/item/joint-fao-who-woah-rapid-risk-assessment-of-rift-valley-fever-\(rvf\)-in-senegal-and-mauritania-implications-for-public-health-and-animal-health](https://www.who.int/publications/m/item/joint-fao-who-woah-rapid-risk-assessment-of-rift-valley-fever-(rvf)-in-senegal-and-mauritania-implications-for-public-health-and-animal-health)
18. <https://www.africanews.com/2025/11/06/world-health-organization-reports-42-deaths-from-rift-valley-fever-in-mauritania-and-senegal/>
19. <https://www.gavi.org/vaccineswork/rift-valley-fever-what-it-how-it-spreads-and-how-stop-it>
20. <https://www.nature.com/articles/s41598-021-86850-7>
21. <https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC11785645/>
22. https://www.sn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_01790.html
23. <https://www.anzen.mofa.go.jp/od/ryojiMailDetail.html?keyCd=160416>
24. <https://www.anzen.mofa.go.jp/od/ryojiMail.html?countryCd=0221>
25. <https://www.vax-before-travel.com/2025/10/14/travel-advisory-issued-senegals-rift-valley-fever-outbreak>
26. <https://www.sn.emb-japan.go.jp/files/100933749.pdf>
27. https://www.sn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_01242.html
28. <https://www.bbc.com/afrique/articles/clyx91vzee0o>
29. https://www.lemonde.fr/afrique/article/2025/10/15/au-senegal-20-morts-dans-une-epidemie-de-fievre-de-la-vallee-du-rift_6646962_3212.html
30. <https://travelhealthpro.org.uk/updates.php?base=4921>
31. https://cdn.who.int/media/docs/default-source/documents/emergencies/web---20251020_rapid-risk-assessment_rift-valley-fever_senegal--mauritania.pdf?sfvrsn=ff4d16dc_3&download=true

32. <https://sn.usembassy.gov/health-alert-rift-valley-fever-outbreak-u-s-embassy-dakar-senegal-october-10-2025/>
33. https://www.dakaractu.com/Sante-Epidemies-463-cas-confirmes-de-Fievre-de-la-Vallee-du-Rift-et-9-cas-de-Mpox_a266709.html
34. <https://wadr.org/senegal-confirms-first-rift-valley-fever-case-in-dakar/>
35. <https://www.rts.sn/actualite/detail/a-la-une/situation-epidemiologique-la-fievre-de-la-vallee-du-rift-enregistre-3-nouveaux-cas-la-mpox-reste-maitrisee>
36. <https://reliefweb.int/report/mauritania/rift-valley-fever-mauritania-and-senegal-5-november-2025>
37. <https://beaconbio.org/en/report/?reportid=2c1b6562-eaeb-4707-9e76-1ee8a998d3&eventid=af4e981f-8dec-4cef-899f-06995b647b0a>
38. <https://www.mesvaccins.net/web/news/23594-nouveaux-cas-de-fievre-de-la-vallee-du-rift-signales-au-senegal>
39. <https://www.woah.org/fr/maladie/fievre-de-la-vallee-du-rift/>
40. <https://www.fao.org/animal-health/news-events/events/detail/strengthening-capacity-in-africa-to-tackle-rift-valley-fever-webinar-2/en>
41. <https://wwwnc.cdc.gov/travel/destinations/traveler/none/senegal>
42. <https://www.healthytravel.com.au/news/cases-of-rift-valley-fever-being-reported-in-senegal/>
43. <https://www.ecdc.europa.eu/sites/default/files/documents/2025-CDTR-Week-44.pdf>
44. <https://www.mesvaccins.net/web/news/23537-les-cdc-emettent-une-alerte-aux-voyageurs-concernant-la-fievre-de-la-vallee-du-rift-au-senegal>
45. <https://www.facebook.com/Fellownurses/posts/senegals-health-authorities-are-on-high-alert-as-rift-valley-fever-claims-17-liv/1385624743563924/>
46. <https://cgspace.cgiar.org/bitstreams/2d86c677-2890-40f2-9683-c0bccd401905/download>
47. <https://travelclinic.co.nz/travel-alerts/>
48. <https://www.facebook.com/MinSanteSN/posts/Ensemble-barrons-la-route-à-la-Fièvre-de-la-Vallée-du-Rift-la-Fièvre-de-la-V/1126379563012618/>
49. <https://resjournals.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/mve.12811>
50. <https://www.anzen.mofa.go.jp/masters/tawinfectiousdiseases.html>
51. <https://www.travelhealth.gov.hk/english/outbreaknews/2025/ond04November2025.html>
52. <https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S2405844024176025>
53. https://www.mofa.go.jp/policy/other/bluebook/2025/en_html/chapter4/c040201.html
54. <https://www.elsevier.es/es-revista-revista-argentina-microbiologia-argentina-372-articulo-rift-valley-fever-virus-an-S0325754125000951>
55. <https://www.openveterinaryjournal.com/index.php?fulltxt=241293&fulltxtj=100&fulltxtp=100-1738765420.pdf>
56. <https://www.sn.emb-japan.go.jp/files/100933750.pdf>
57. <https://www.nature.com/articles/s41598-023-35128-1>
58. <https://academic.oup.com/jme/article-abstract/24/6/595/2220555>
59. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/8262575/>
60. <https://resjournals.onlinelibrary.wiley.com/doi/abs/10.1046/j.1365-2583.1998.740307.x>
61. <https://emtoscipublisher.com/index.php/jmr/article/html/3190>
62. <https://beaconbio.org/en/report/?reportid=3b0af28f-6ad1-4e1c-829e-c8b8b8822eb9&eventid=af4e981f-8dec-4cef-899f-06995b647b0a&page=2>
63. https://www.scitechnol.com/peer-review/temephos-resistance-in-three-populations-of-culex-piapiens-collected-from-three-districts-of-southern-tunisia-and-its-significance--Gt45.php?article_id=6256
64. <https://www.who.int/emergencies/disease-outbreak-news/item/2025-DON584>
65. <https://www.cidrap.umn.edu/rift-valley-fever/rift-valley-fever-cases-senegal-mauritania-top-400>

66. <https://www.ecdc.europa.eu/sites/default/files/documents/Communicable-disease-threats-report-week-47-2025.pdf>
67. <https://africacdc.org/news-item/rift-valley-fever-makes-a-comeback-in-senegal-and-mauritania/>
68. <https://www.fao.org/animal-health/news-events/events/detail/strengthening-capacity-in-africa-to-tackle-rift-valley-fever-webinar-2/en>
69. <https://www.woah.org/en/statement-on-rift-valley-fever-in-west-africa/>